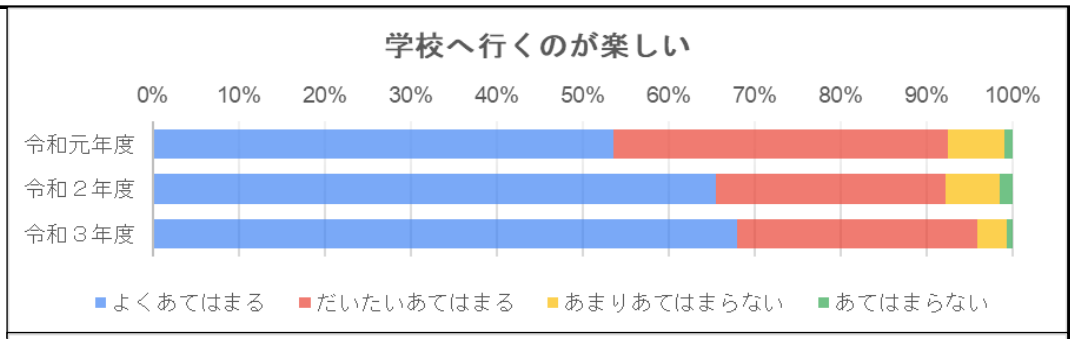
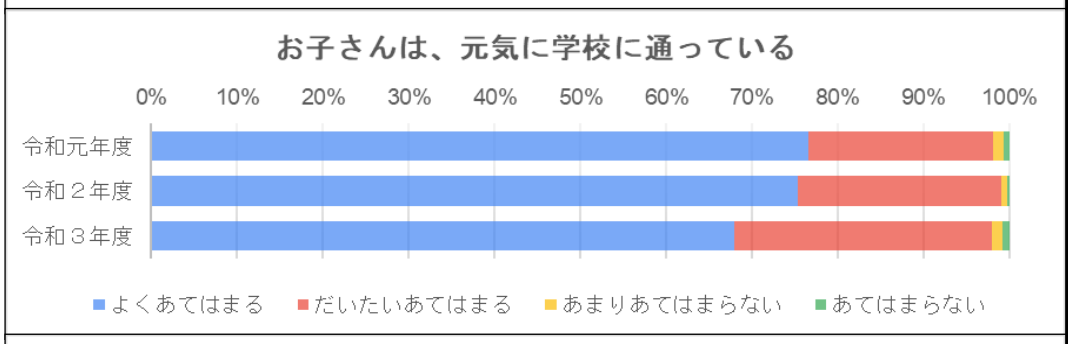
令和3年度

小諸市立水明小学校 「学校評価アンケート」 経年変化

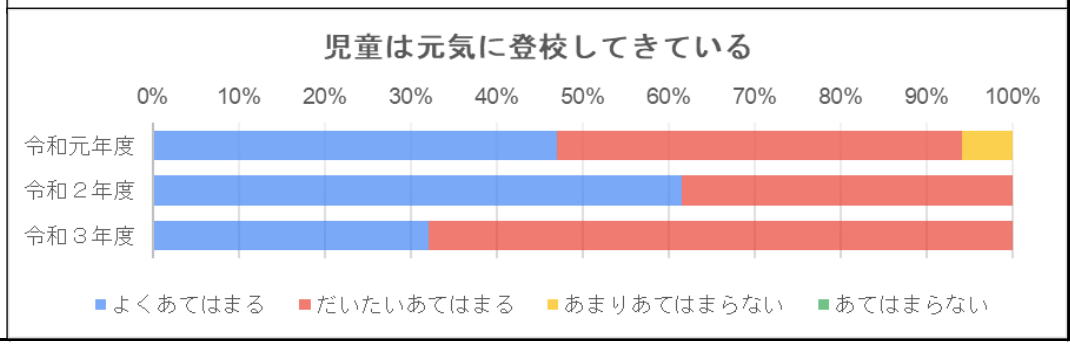
児童回答



保護者回答



職員回答



登校について

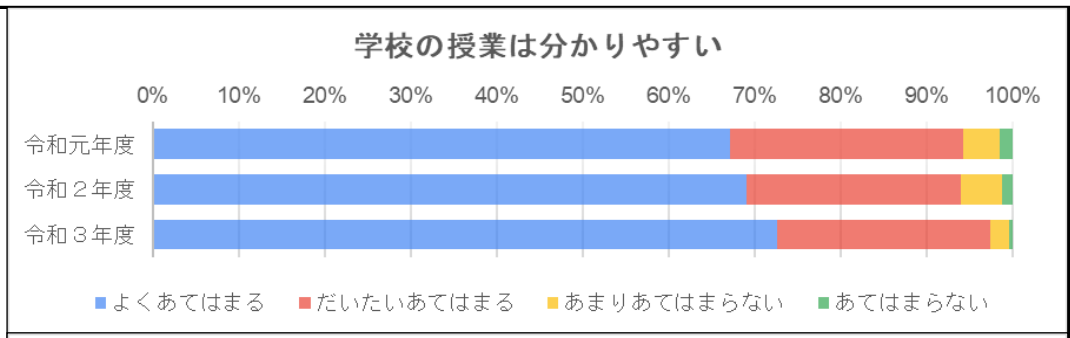
児童は、これまでも、肯定的ポイントが９割を超えていたが、今年は、全体の９５％以上の児童が肯定意見となり、学校へ意欲的に通っている実態が数値となって表れた。

保護者回答においても、およそ９８％の保護者の方より「元気に学校に通っている」と言う回答を得ることができた。

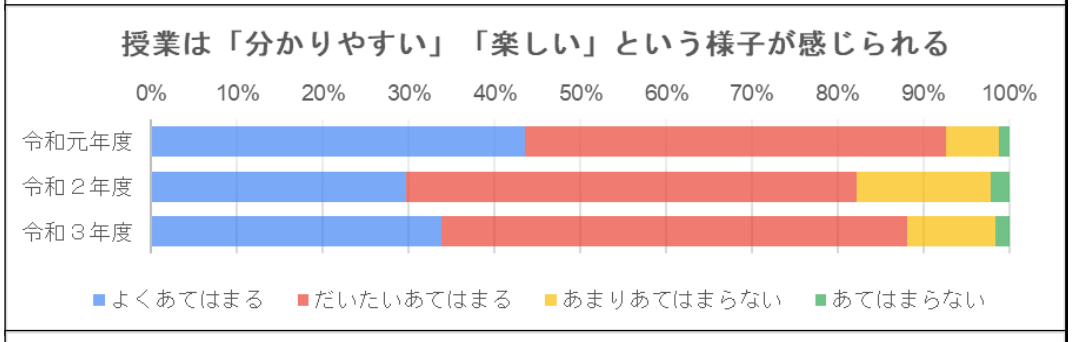
職員については、「よくあてはまる」ポイントが６割（R2）から約３割（R3）に半減したものの、児童の意欲的な登校の姿を全職員が認識している。

その一方で、数名の保護者より「あてはまらない」と言う回答があったので、個々の児童についてもう一度見つめ直す必要があると考える。

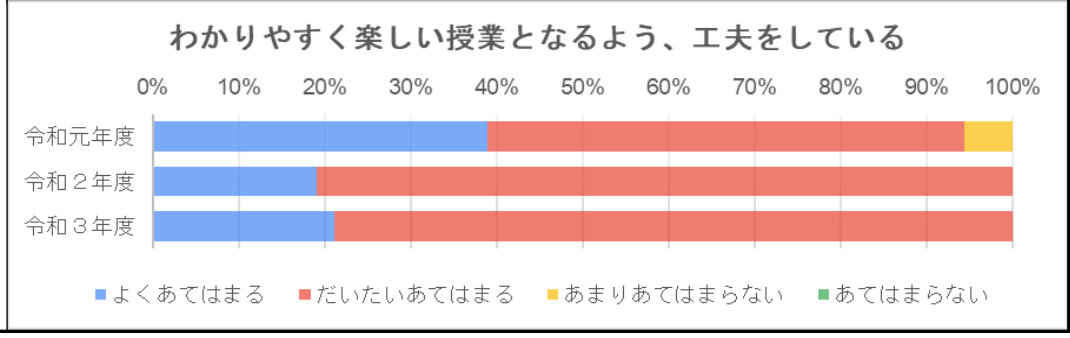
児童回答



保護者回答



職員回答



授業について

児童の回答で「授業は分かりやすい」と回答している割合が年々増加傾向にあり、令和３年度は９８％の児童から肯定的意見が回答された。

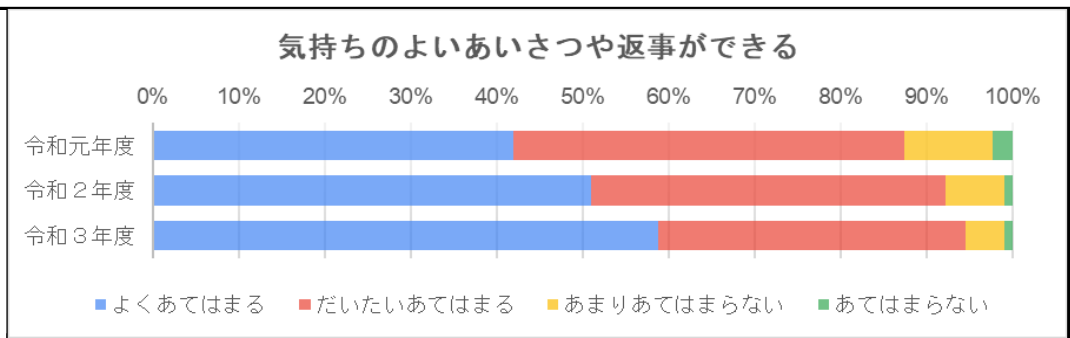
保護者の回答では、今年度の肯定的意見が８８％であったが令和元年度は９３％の保護者から肯定的意見をいただいた経緯があるのでより一層の授業改善を進めたい。

職員においては、スクールＧＩＧＡ構想により１人１台端末がいきわたり、研修会等によりスキルアップに努めているので、端末を使った授業の研究もより一層深めていきたい。

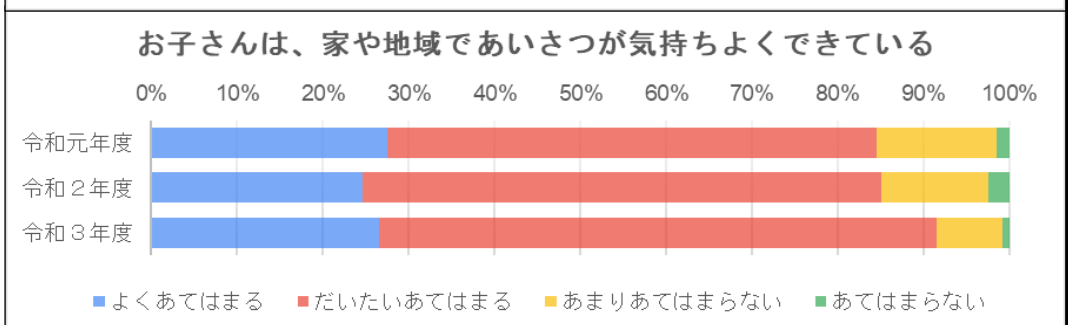
令和3年度

小諸市立水明小学校 「学校評価アンケート」 経年変化

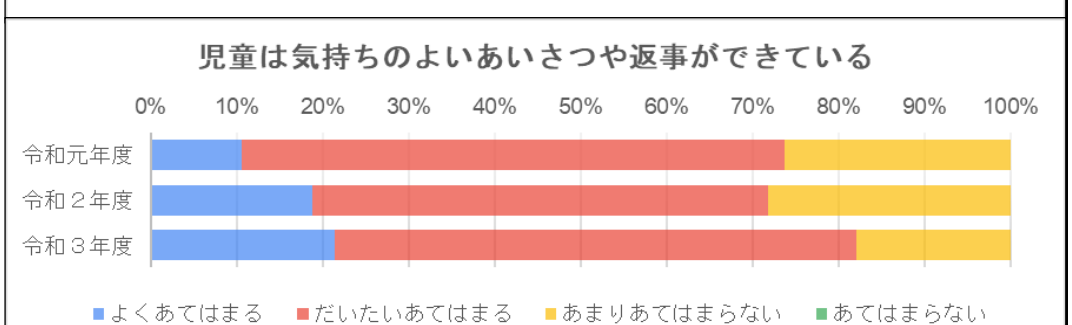
児童回答



保護者回答



職員回答



あいさつについて

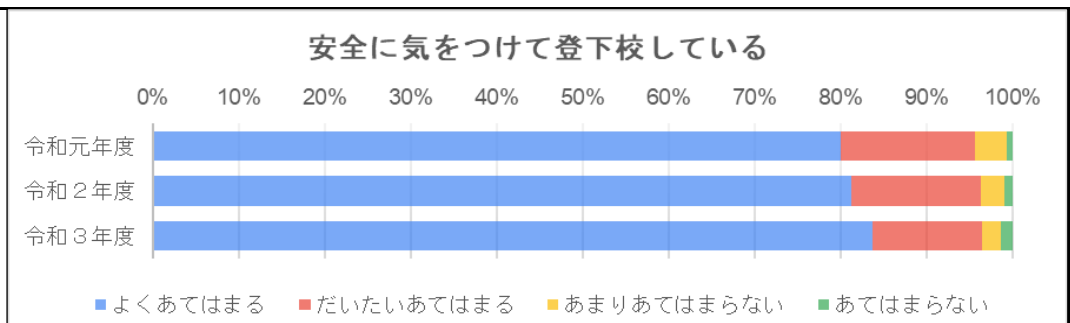
昨年度から学校全体で力を入れて取り組んできたあいさつについて、向上が見られる今年度の結果だった。

児童については、令和元年度（８７％）、令和２年度（９２％）、今年度（９５％）と肯定意見が増え、さらに「よくあてはまる」と答えた児童が６割近くに上った。

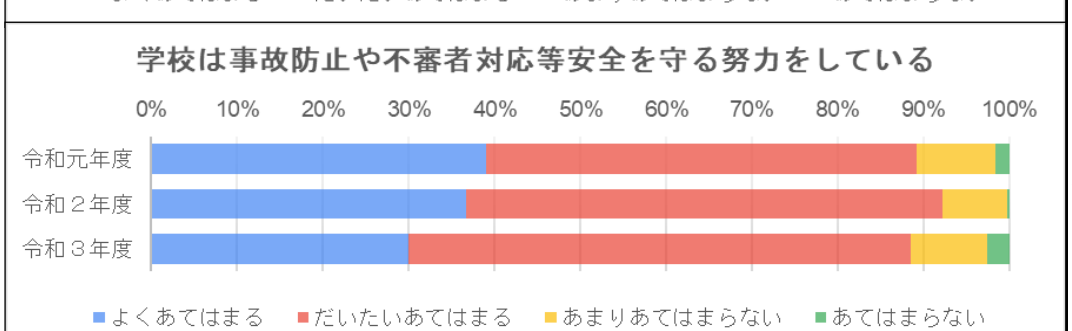
昨年度、児童の肯定的意見に比較し、保護者と職員の「あいさつができている」意見がさほど高くなく、令和元年度とほぼ同様の数値であった。しかし今年度は、保護者は７ポイントアップの９２％、職員は１０ポイントアップの８２％となった。

学校評議員の方からも、あいさつの向上についてお褒めの言葉をいただいているので今後さらに向上させたい。

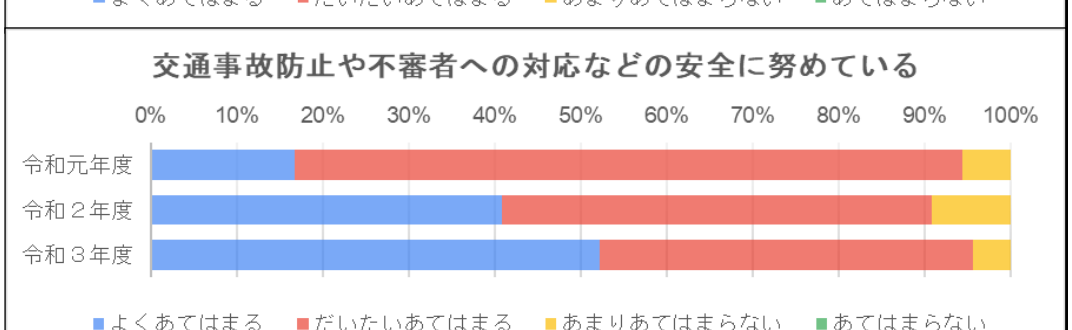
児童回答



保護者回答



職員回答



安全面について

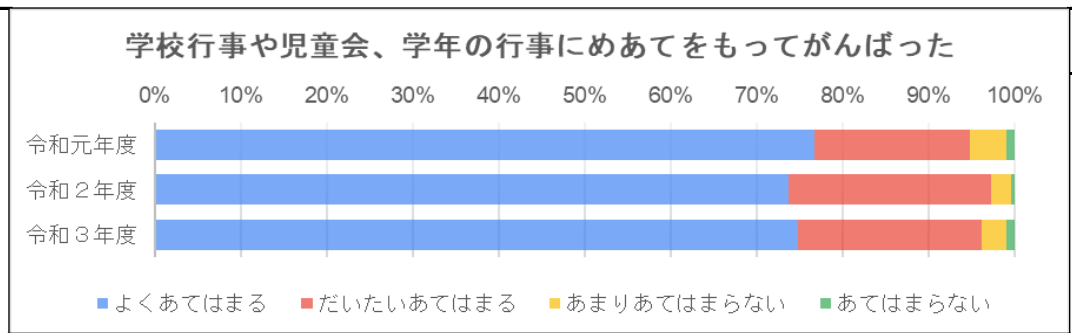
昨今、登下校中の事故や事件が頻発しており、学校として力を入れていかなければいけないと感じる。
「よくあてはまる」と回答している児童が年々増えている一方で、保護者から、学校が事故防止の対応を十分しているとの回答は年々減少している。職員からは、「よくあてはまる」意見が５０％を超えているが、保護者のニーズに応えられるよう令和４年度は以下の変更をしたい。

〇不審者対応訓練を年間予定の中に位置づける。
〇児童数の減少とともに複数での下校が難しい地域が出ていることに加え火曜日が１年生のみでの下校となっていたので来年度は、３年生の５時間授業を月曜日から火曜日に変更し１・３年生で下校することとする。
〇職員による下校時の安全指導を定期的に行う。

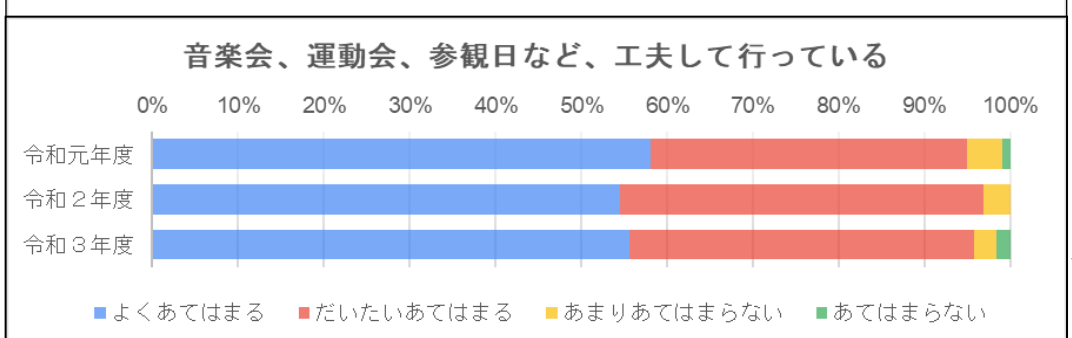
令和3年度

小諸市立水明小学校 「学校評価アンケート」 経年変化

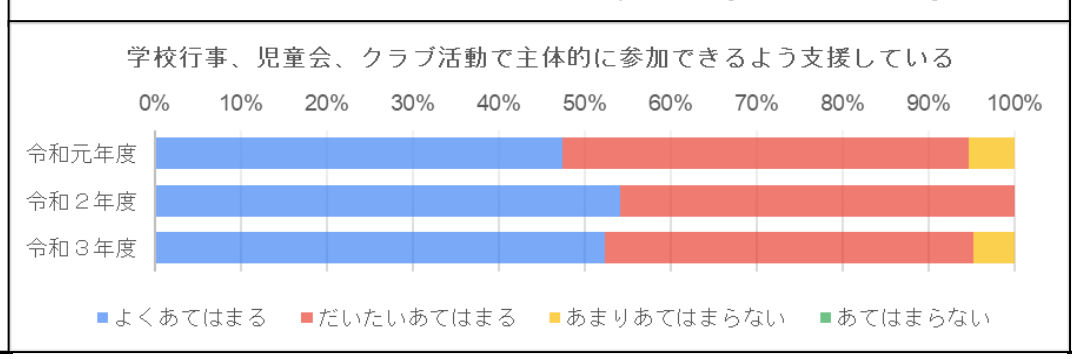
児童回答



保護者回答



職員回答

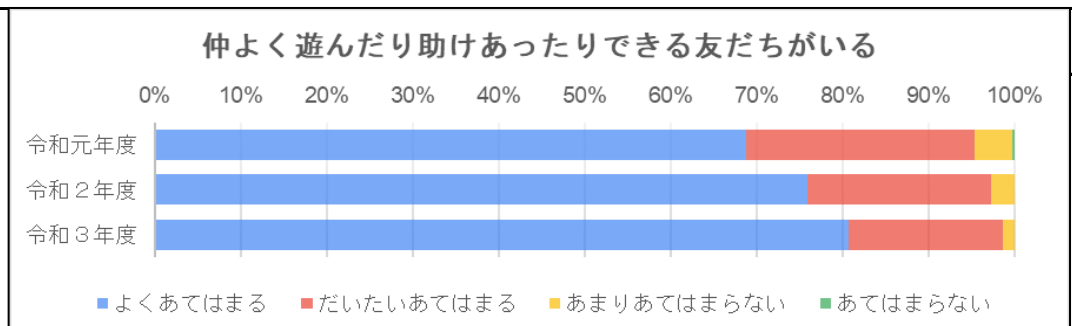


行事について

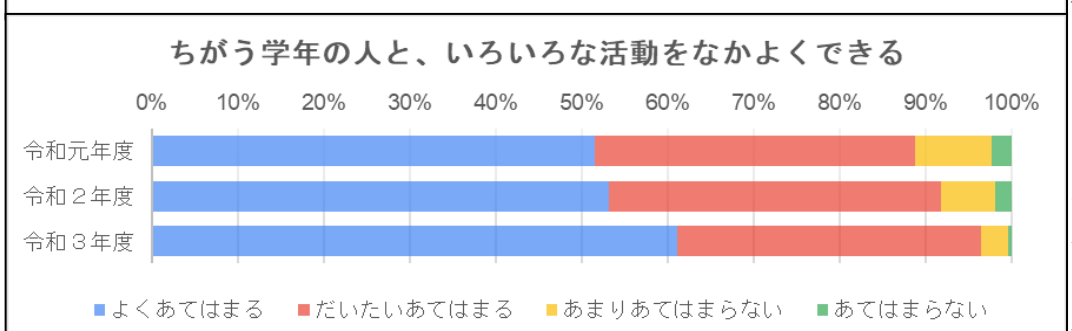
児童の回答からは、昨年度同様約９５％から行事に対して前向きに取り組む姿を伺い知ることができた。

保護者回答も約９５％から肯定的意見を得ることができた。コロナ感染症により、行事が急に変更となったり中止となったりしたことがあったが、保護者の方にご理解、ご協力いただきありがたかった。一方、コメント欄に個々の行事についての意見をいただいているので、それぞれ検討し改善できることについては来年度に生かしていきたい。

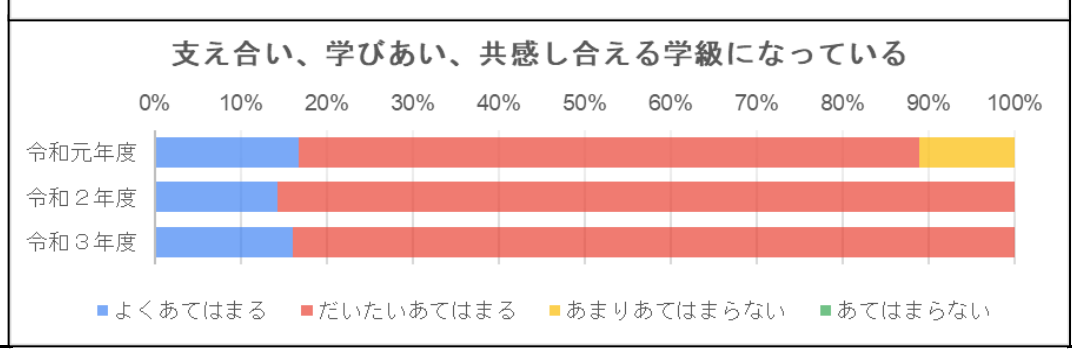
児童回答



児童回答



職員回答



交友関係について

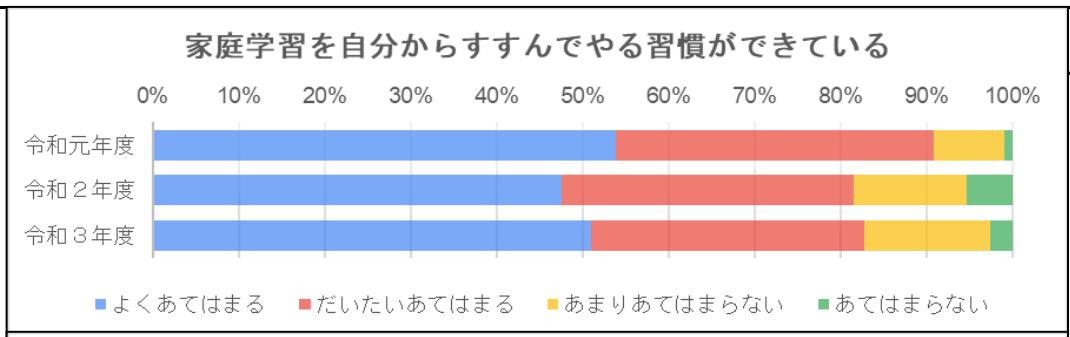
注）この欄は、児童回答が１段目、２段目に２つ並んでおります。

児童の二つのアンケート項目を見比べて、学級の友達、また異学年の友達との良好な関係が年々向上している様子が見られる。「よくあてはまる」ポイントも年々増加している。個々の児童の人間関係をや心的変化を把握するためＱ－Ｕ（学級の居心地度調査）を実践に生かすための職員研修を年２回実施した。また日常的に行っているやなかよし学級ごとの取り組みや、他者を尊重するためのなかよし旬間などの企画も好結果の要因となったと推測する。

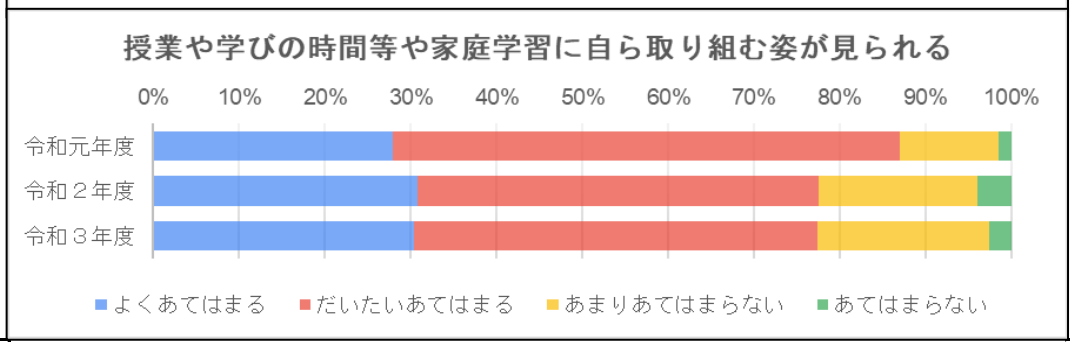
令和3年度

小諸市立水明小学校 「学校評価アンケート」 経年変化

児童回答



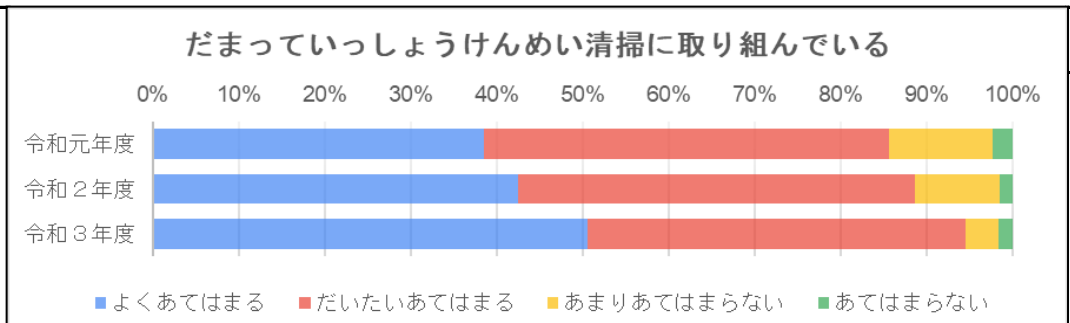
保護者回答



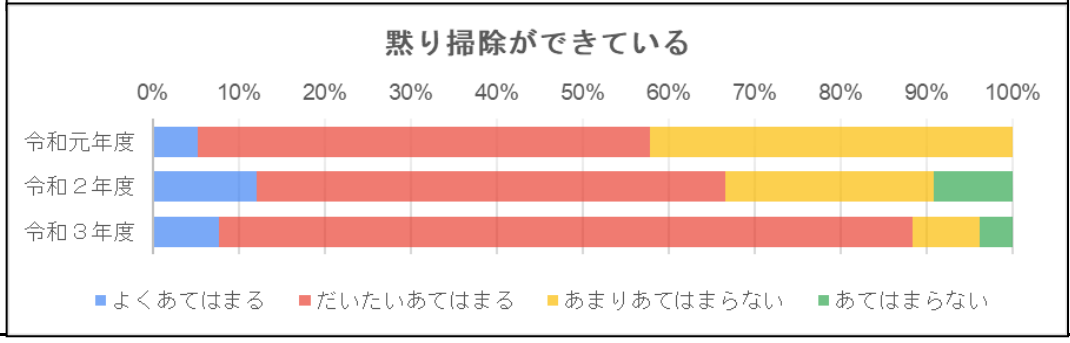
家庭学習

児童、保護者ともに家庭学習の取り組みは肯定的ポイントが８割前後で推移している。「あてはまらない」と言う回答が令和２年度よりは減少したものの２割近い児童、保護者が、改善を必要としていることが数値から明らかとなった。今後、家庭学習にタブレットを活用しながら児童の家庭での学習態度のさらなる向上を進めたい。

児童回答



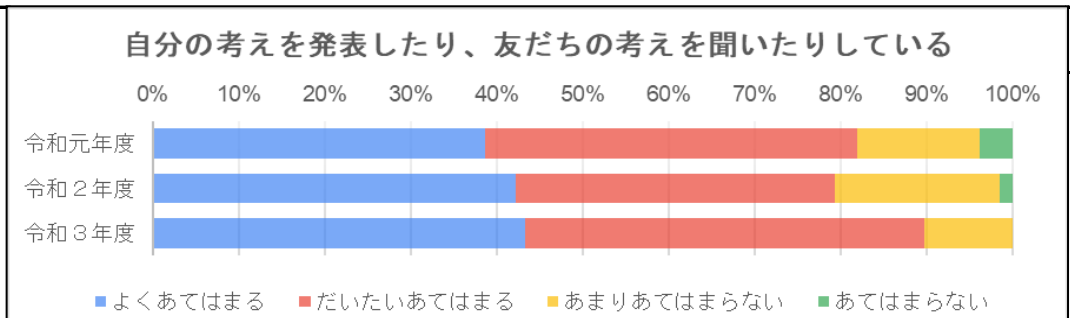
職員回答



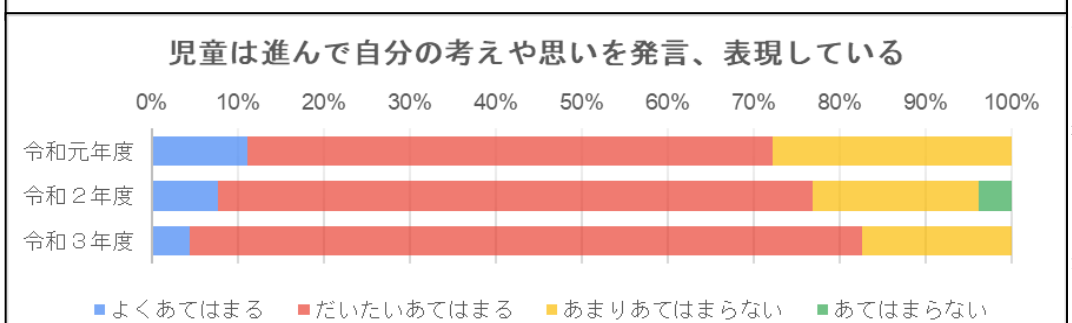
清掃について

清掃の係を中心に、学校全体の取り組みの決まり事を決め、清掃態度の改善を目指し、２年目となった。
児童、職員の回答ともに向上しいる様子がグラフから伝わってくる。今年は、９４％の児童ががんばって清掃に取り組んでいると回答している。
職員は、肯定的な意見が８８％となり、「あてはまらない」と言う回答が４％にまで減少した。児童、職員ともに掃除に向かう伝統を構築していきたい。

児童回答



職員回答



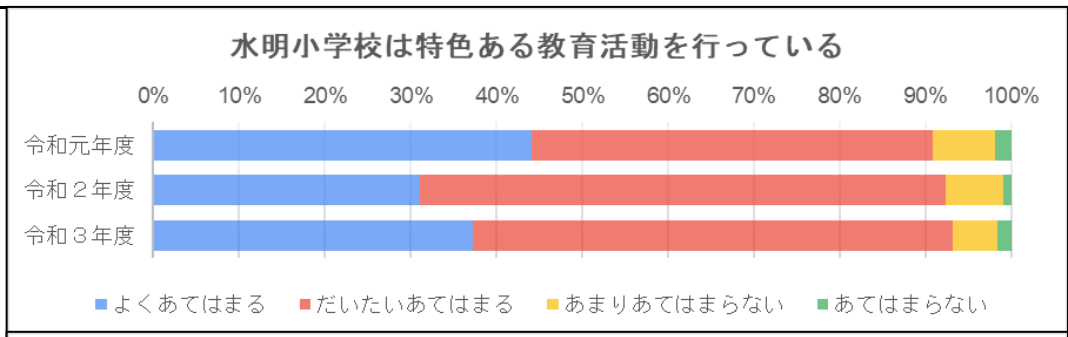
発言（発表）について

タブレットの導入とともに、言葉として自分の考えを全体に発信する場面が変化してきている。コロナ感染症のレベルが上がってくると、教室の全員の前で発言する機会が減少し、オンライン上で挙手ボタンを押して画面に向けて発言したり、全体でネット上のボードに書き込むことで自分の考えを発信することなども行っている。どのような状況であっても「自分の思いを持ち」「友だちの考えと比べ」「さらに考えを練り上げる」場面の確保は来年度以降も続けていきたい。

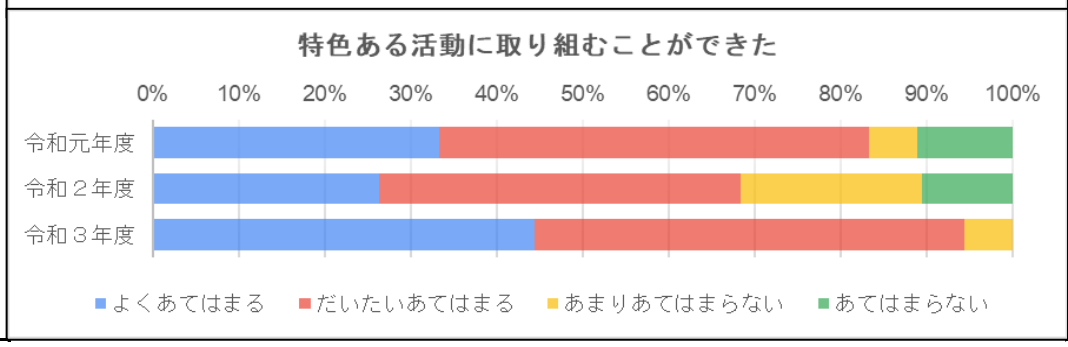
令和3年度

小諸市立水明小学校 「学校評価アンケート」 経年変化

保護者回答



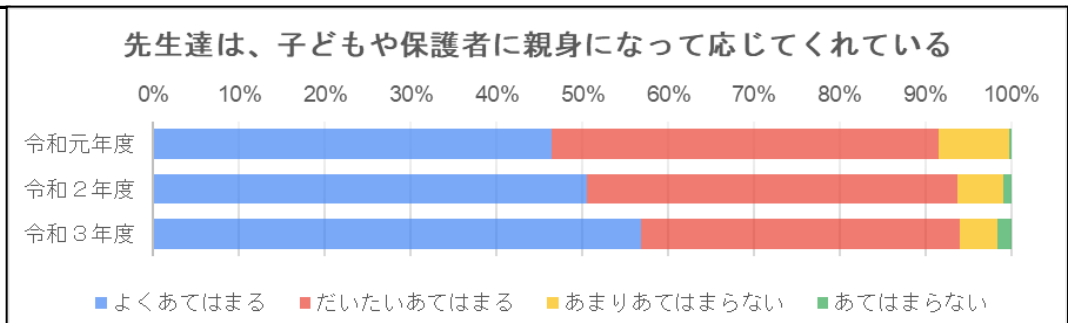
職員回答



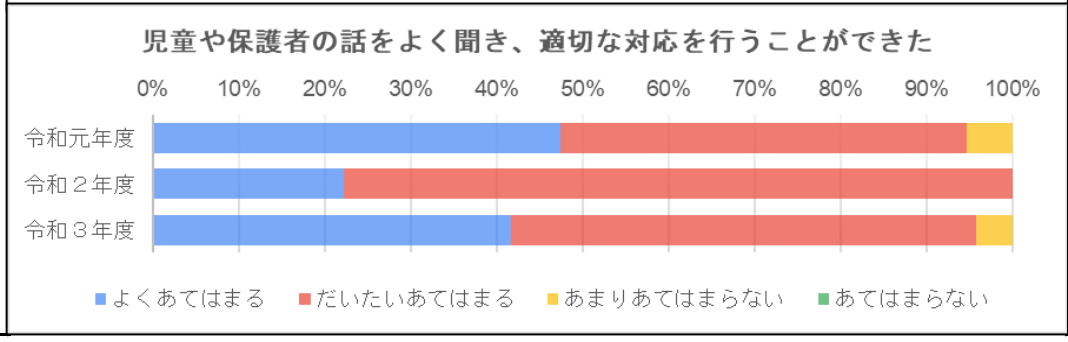
特色ある活動について

コロナ感染症により、活動が制限されることが多かったが、学年ごとで工夫した活動を展開することができた。
ある学年では、生き物を中心とした活動を年間通じて行い、最後のお別れまでを計画した。他の学年では「豆」を活動の中心におき、国語の単元や総合的な学習の時間など横断的な活動を展開した。このような活動が、各学年で行われたことが職員の肯定的ポイントの向上に表れたと感じる。コロナ感染症を念頭におきながら、学級（学年）の核となる活動を来年度も研究していきたい。

保護者回答



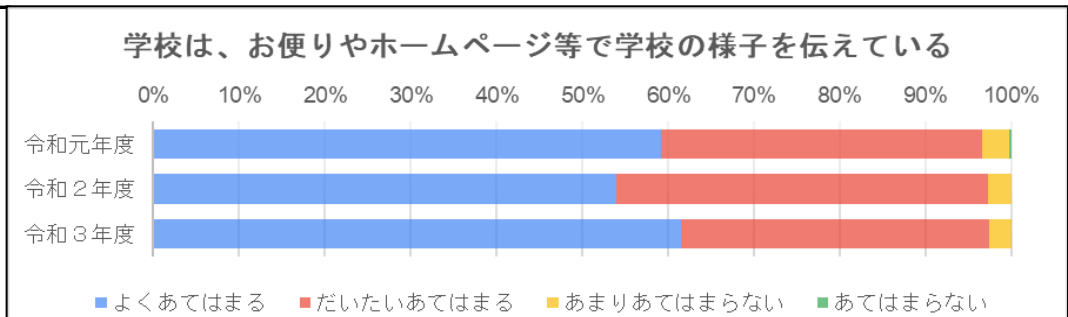
職員回答



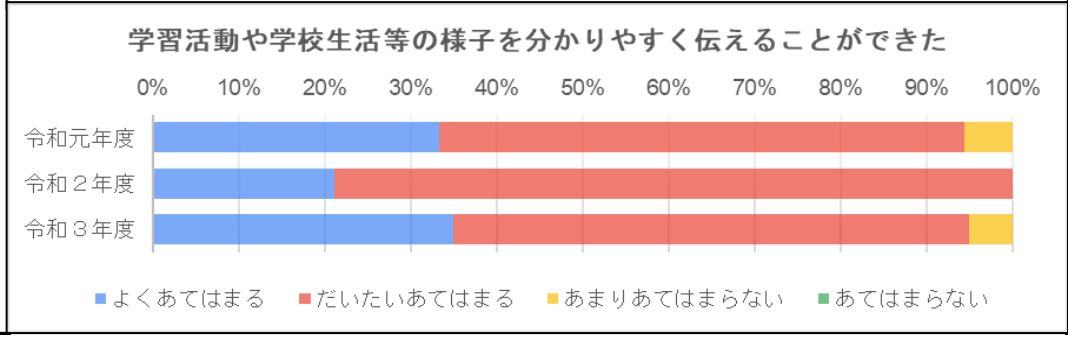
学校、家庭の連携について

保護者の回答結果において、「よくあてはまる」ポイントが年々向上していることがうれしいことではあるが、２％の保護者より「あてはまらない」という回答があった。コメント欄にも具体的な対応について言及があったので、全職員で保護者のニーズを共有し、個々の児童に応じた対応を継続していきたい。

保護者回答



職員回答



情報発信について

全学年で、週１回の学年便り、対外的行事があったときは速やかにホームページへの掲載に努めてきた。
保護者からの回答には情報発信が日常的に行えている様子が数値となって表れている。
一方、コメント欄に学年（学級）便りの内容に関する回答があったので参考にさせていただき、さっそく今年度から生かしていきたい。